

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【公開番号】特開2018-89349(P2018-89349A)

【公開日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2017-157505(P2017-157505)

【国際特許分類】

A 6 2 C 13/62 (2006.01)

A 6 2 C 13/02 (2006.01)

A 6 2 C 37/36 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 13/62 A

A 6 2 C 13/02

A 6 2 C 37/36

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年8月11日(2021.8.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

第3の実施例は、火炎抑制システムを開示する。火炎抑制システムは、火炎抑制剤を含む容器を含む。容器は、第1のポートと第2のポートを含む。火炎抑制システムは、第1のポートに連結されたガス生成器を更に含む。ガス生成器は、推進剤ガスを生成し、それを第1のポートを介して容器の中へ流すように構成されている。火炎抑制システムは、第2のポートに連結された分配マニホールド、及び第2のポートを密封するディスクを更に含む。ディスクは、(a)容器内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、(b)破裂に応じて、分配マニホールドの中へ火炎抑制剤を解放するように構成されている。火炎抑制システムは、(a)ユーザ入力を受信し、(b)ユーザ入力を受信したことに応じて、ガス生成器へ制御入力を送信し、ガス生成器に推進剤ガスを生成させるように構成され、ユーザインターフェースを更に含む。容器の全容積の少なくとも60%且つ80%以下が、火炎抑制剤で満たされる。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 6】

更に、本開示は下記の条項による実施例を含む。

条項1

容器(102)から分配マニホールド(114)の中へ火炎抑制剤(104)を排出するための方法(200)であって、

前記容器(102)の第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流れ推進剤ガス(112)を生成し、前記容器(102)内の圧力を上昇させることであって、前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に、前記容器(102)が前記火炎抑制剤(104)を含む、上昇させること、及び

前記容器(102)内の前記圧力が閾値圧を超えたことに応じて、前記容器(102)の第2のポート(108)から前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を排出することであって、少なくとも、前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に前記容器(102)内に含まれていた前記火炎抑制剤(104)の実質的に全てが、前記第2のポート(108)を介して前記容器(102)から排出されるまで、前記生成された推進剤ガス(112)が、前記第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流れ続ける、排出することを含む、方法(200)。

#### 条項2

前記推進剤ガス(112)を生成することが、ガス生成器(110)が前記推進剤ガス(112)の1以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス(112)を生成することを含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項3

前記ガス生成器(110)において、入力を受信することを更に含み、

前記推進剤ガス(112)を生成することが、前記ガス生成器(110)において前記入力を受信したことに応じて、前記推進剤ガス(112)を生成することを含む、条項2に記載の方法(200)。

#### 条項4

前記入力を受信することが、熱検出器(122)、煙検出器(122)、又はユーザインターフェース(122)から、前記入力を受信することを含む、条項3に記載の方法(200)。

#### 条項5

前記容器(102)の前記第2のポート(108)から前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を排出することが、前記容器(102)内の前記圧力が前記閾値圧を超えたことに応じて、前記第2のポート(108)を密封するディスク(116)を破裂させることを含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項6

前記ディスク(116)を破裂させた後で、少なくとも、前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に前記容器(102)内に含まれていた前記火炎抑制剤(104)の実質的に全てが前記容器(102)から排出されるまで、前記容器(102)内の前記圧力を前記閾値圧よりも大きいか又はそれに等しい状態で維持することを更に含む、条項5に記載の方法(200)。

#### 条項7

前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に、第2の推進剤ガス(118)が前記容器(102)内に含まれ、前記方法(200)が、

圧力計(120)を介して、少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス(118)によって生成された前記容器(102)内の前記圧力をモニタすることを更に含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項8

前記火炎抑制剤(104)を排出することが、前記容器(102)内の前記圧力が平方インチ当たり900重量ポンドのゲージ圧(psig)と1100psigの間の範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記火炎抑制剤(104)を排出することを含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項9

前記火炎抑制剤(104)を排出することが、前記容器(102)内の前記圧力が平方インチ当たり1000重量ポンドのゲージ圧(psig)と実質的に等しい圧力を超えたことに応じて、前記火炎抑制剤(104)を排出することを含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項10

前記分配マニホールド(114)を通して、前記排出された火炎抑制剤(104)を液相で流すこと、及び

前記分配マニホールド(114)から、前記排出された火炎抑制剤(104)を液相で分配することを更に含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項11

前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に前記容器(102)内に含まれていた前記火炎抑制剤(104)の実質的に全てが前記容器(102)から排出された後で、前記容器(102)内の前記圧力を前記閾値圧未満に低減させることを更に含む、条項1に記載の方法(200)。

#### 条項12

火炎抑制剤(104)を含む容器(102)であって、第1のポート(106)と第2のポート(108)を備えた、容器(102)、

前記第1のポート(106)に連結されたガス生成器(110)であって、推進剤ガス(112)を生成し、前記推進剤ガス(112)を前記第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流すように構成された、ガス生成器(110)、

前記第2のポート(108)に連結された分配マニホールド(114)、及び

前記第2のポート(108)を密封するディスク(116)であって、(a)前記容器(102)内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、(b)前記破裂に応じて、前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を解放するように構成された、ディスク(116)を備える、火炎抑制システム(100)。

#### 条項13

制御ユニット(122)を更に備え、前記制御ユニット(122)が、(a)火災の存在を示す状態を検出し、(b)検出された前記状態に応じて、前記ガス生成器(110)へ入力を送信し、前記ガス生成器(110)に前記推進剤ガス(112)を生成させるように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項14

ユーザインターフェース(122)を更に備え、前記ユーザインターフェース(122)が、(a)ユーザ入力を受信し、(b)前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記ガス生成器(110)へ制御入力を送信し、前記ガス生成器(110)に前記推進剤ガス(112)を生成させるように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項15

前記ガス生成器(110)が、前記推進剤ガス(112)の1以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス(112)を生成するように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項16

前記容器(102)が、第2の推進剤ガス(118)も含み、前記火炎抑制システム(100)が、

少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス(118)によって生成された前記容器(102)内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計(120)を更に備える、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項17

前記容器(102)の全容積の少なくとも60%且つ80%以下が、前記火炎抑制剤(104)で満たされている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項18

前記容器(102)内の前記圧力が平方インチ当たり900重量ポンドのゲージ圧(psig)と1100psigの範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記ディスク(116)が破裂するように構成されている、条項12に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 条項19

火炎抑制剤(104)を含む容器(102)であって、第1のポート(106)と第2のポート(108)を備えた、容器(102)、

前記第1のポート(106)に連結されたガス生成器(110)であって、推進剤ガス(112)を生成し、前記推進剤ガス(112)を前記第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流すように構成された、ガス生成器(110)、

前記第2のポート(108)に連結された分配マニホールド(114)、

前記第2のポート(108)を密封するディスク(116)であって、(a)前記容器(102)内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、(b)前記破裂に応じて、前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を解放するように構成された、ディスク(116)、及び

(a)ユーザ入力を受信し、(b)前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記ガス生成器(110)へ制御入力を送信し、前記ガス生成器(110)に前記推進剤ガス(112)を生成させるように構成された、ユーザインターフェース(122)を備え、

前記容器(102)の全容積の少なくとも60%且つ80%以下が、前記火炎抑制剤(104)で満たされている、火炎抑制システム(100)。

#### 条項20

前記容器(102)が、第2の推進剤ガス(118)も含み、前記火炎抑制システム(100)が、

少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス(118)によって生成された前記容器(102)内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計(120)を更に備える、条項19に記載の火炎抑制システム(100)。

#### 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

#### 【請求項1】

容器(102)から分配マニホールド(114)の中へ火炎抑制剤(104)を排出するための方法(200)であって、

前記容器(102)の第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流れる推進剤ガス(112)を生成し、前記容器(102)内の圧力を上昇させることであって、前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に、前記容器(102)が前記火炎抑制剤(104)を含む、上昇させること、

前記容器(102)内の前記圧力が閾値圧を超えたことに応じて、前記容器(102)の第2のポート(108)から前記分配マニホールド(114)の中へ前記火炎抑制剤(104)を排出することであって、少なくとも、前記推進剤ガス(112)の前記生成の前に前記容器(102)内に含まれていた前記火炎抑制剤(104)の実質的に全てが、前記第2のポート(108)を介して前記容器(102)から排出されるまで、生成された前記推進剤ガス(112)が、前記第1のポート(106)を介して前記容器(102)の中へ流れ続ける、排出すること、及び

前記容器内の圧力が、少なくとも、前記推進剤ガスの前記生成の前に前記容器内に含まれていた前記火炎抑制剤の実質的に全てが前記容器から排出されるまで、前記閾値圧以上に維持されること、

を含む、方法(200)。

#### 【請求項2】

前記推進剤ガス(112)を生成することが、ガス生成器(110)が前記推進剤ガス(112)の1以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス(112)を生成することを含む、請求項1に記載の方法(200)。

#### 【請求項3】

前記ガス生成器(110)において、入力を受信することを更に含み、

前記推進剤ガス(112)を生成することが、前記ガス生成器(110)において前記

入力を受信したことに応じて、前記推進剤ガス（112）を生成することを含む、請求項2に記載の方法（200）。

【請求項4】

前記入力を受信することが、熱検出器（122）、煙検出器（122）、又はユーザインターフェース（122）から、前記入力を受信することを含む、請求項3に記載の方法（200）。

【請求項5】

前記容器（102）の前記第2のポート（108）から前記分配マニホールド（114）の中へ前記火炎抑制剤（104）を排出することが、前記容器（102）内の前記圧力が前記閾値圧を超えたことに応じて、前記第2のポート（108）を密封するディスク（116）を破裂させることを含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の方法（200）。

【請求項6】

前記推進剤ガス（112）の前記生成の前に、第2の推進剤ガス（118）が前記容器（102）内に含まれ、前記方法（200）が、

圧力計（120）を介して、少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス（118）によって生成された前記容器（102）内の前記圧力をモニタすることを更に含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法（200）。

【請求項7】

前記分配マニホールド（114）を通して、排出された前記火炎抑制剤（104）を液相で流すこと、及び

前記分配マニホールド（114）から、排出された前記火炎抑制剤（104）を液相で分配することを更に含む、請求項1から6のいずれか一項に記載の方法（200）。

【請求項8】

前記推進剤ガス（112）の前記生成の前に前記容器（102）内に含まれていた前記火炎抑制剤（104）の実質的に全てが前記容器（102）から排出された後で、前記容器（102）内の前記圧力を前記閾値圧未満に低減させることを更に含む、請求項1から7のいずれか一項に記載の方法（200）。

【請求項9】

火炎抑制剤（104）を含む容器（102）であって、第1のポート（106）と第2のポート（108）を備えた、容器（102）、

前記第1のポート（106）に連結されたガス生成器（110）であって、推進剤ガス（112）を生成し、前記推進剤ガス（112）を前記第1のポート（106）を介して前記容器（102）の中へ流すように構成された、ガス生成器（110）、

前記第2のポート（108）に連結された分配マニホールド（114）、及び

前記第2のポート（108）を密封するディスク（116）であって、（a）前記容器（102）内の圧力が閾値圧を超えたことに応じて破裂し、（b）前記破裂に応じて、前記分配マニホールド（114）の中へ前記火炎抑制剤（104）を解放するように構成された、ディスク（116）を備える火炎抑制システム（100）であって、

前記容器内の圧力が、少なくとも、前記推進剤ガスの前記生成の前に前記容器内に含まれていた前記火炎抑制剤の実質的に全てが前記容器から排出されるまで、前記閾値圧以上に維持されるよう、更に構成されている、火炎抑制システム（100）。

【請求項10】

制御ユニット（122）を更に備え、前記制御ユニット（122）が、（a）火災の存在を示す状態を検出し、（b）検出された前記状態に応じて、前記ガス生成器（110）へ入力を送信し、前記ガス生成器（110）に前記推進剤ガス（112）を生成させるように構成されている、請求項9に記載の火炎抑制システム（100）。

【請求項11】

ユーザインターフェース（122）を更に備え、前記ユーザインターフェース（122）が、（a）ユーザ入力を受信し、（b）前記ユーザ入力を受信したことに応じて、前記

ガス生成器（110）へ制御入力を送信し、前記ガス生成器（110）に前記推進剤ガス（112）を生成させるように構成されている、請求項9又は10に記載の火炎抑制システム（100）。

【請求項12】

前記ガス生成器（110）が、前記推進剤ガス（112）の1以上の前駆体の化学反応を開始することによって、前記推進剤ガス（112）を生成するように構成されている、請求項9から11のいずれか一項に記載の火炎抑制システム（100）。

【請求項13】

前記容器（102）が、第2の推進剤ガス（118）も含み、前記火炎抑制システム（100）が、

少なくとも部分的に前記第2の推進剤ガス（118）によって生成された前記容器（102）内の前記圧力をモニタするように構成された、圧力計（120）を更に備える、請求項9から12のいずれか一項に記載の火炎抑制システム（100）。

【請求項14】

前記容器（102）の全容積の少なくとも60%且つ80%以下が、前記火炎抑制剤（104）で満たされている、請求項9から13のいずれか一項に記載の火炎抑制システム（100）。

【請求項15】

前記容器（102）内の前記圧力が平方インチ当たり900重量ポンドのゲージ圧（psig）と1100psigの間の範囲内の圧力を超えたことに応じて、前記ディスク（116）が破裂するように構成されている、請求項9から14のいずれか一項に記載の火炎抑制システム（100）。